

# 情報は、いのちを守るもの。

津波警報が聞こえなかった  
命を守る情報に格差があってはならない

東日本大震災の11日後に宮城を訪れ、2年4ヶ月かけて取材。  
一般のテレビや新聞で報道されなかった  
聞こえない人たちの現状を伝えるドキュメント。



¥3,240

(税込/本体価格3,000円)

DVD74分

カラー / 音声 / 字幕  
日本語字幕 / 英語字幕

販売元: Studio AYA

ローマ・CINEDEAF 映画祭  
招待上映

ドイツ・ニッポンビジョン部門  
観客賞3位

ヒューマンドキュメンタリー  
映画祭<阿倍野>上映

あいち国際女性  
映画祭2014上映

# 架け橋 きこえなかった3.11



架け橋 きこえなかった3.11 2013年 / 音声日本語・日本語字幕・英語字幕 / 74分

監督 / 今村 彩子 撮影 / 今村彩子・渡辺佳宏・柳喜代子・古川元・7fish 協力 / 全日本ろうあ連盟・日本障害フォーラム・宮城県立聴覚支援学校  
後援 / 東京都聴覚障害者連盟 制作・著作 / CS障害者放送統一機構「目で聴くテレビ」

架け橋 きこえなかった3.11 オフィシャルサイト <http://studioaya.com/kakehashi>



# 津波警報が聞こえなかった

東日本大震災が起きた時、津波警報が聞こえなかったために亡くなった人たちがいた。耳の聞こえない人たち。ろう・難聴者は、外見は障害のない人と同じだが、警報や避難放送などの情報を得にくいので、災害時には更に弱い立場に立たされる。

この映画の主人公の小泉正壽さんは、耳が聞こえない。自動車整備の仕事をしなが、宮城県ろうあ協会の会長を務めている。小泉さんは被災したろう者の支援や情報格差をなくそうと東奔西走する。休む暇もなく活動を続けたため、脳梗塞で倒れ、歩くことさえも困難になり、入院する。しかし、早く元気になって皆のところへ戻りたいと地道なりハビリを続け、再び会長として皆のもとへ帰ってきた。

自身も耳が聞こえない今村彩子が地震の11日後に宮城を訪れ、2年4ヶ月間かけて取材した渾身のドキュメンタリー。

本編 74分

特典 1)「架け橋」のその後 2)主題歌「1人じゃない」ピアノ弾き語り



映像作家 **今村 彩子** (いまむら あやこ)

大学在籍中にカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、映画制作を学ぶ。二十歳からドキュメンタリーを撮り続け、全国各地で上映・講演活動を展開中。「珈琲とエンビツ」(2011)は好評で全国の劇場で公開された。

## ご注文方法

- ご注文方法 ご注文用紙に記入の上、お問合わせ先にメールまたはFAXを送ってください。
- お振込み先 **銀行 三菱東京UFJ銀行 鳴海支店 (普) 4558813 スタジオ アヤ イマムラ アヤコ**  
**郵便 12160-81411061 加入者名 今村彩子**
- お問合わせ先 **Studio AYA <http://studioaya.com>**  
**TEL / FAX (052) 621-9670 E-mail [studio\\_aya\\_office@yahoo.co.jp](mailto:studio_aya_office@yahoo.co.jp)**

※ご入金を確認でき次第、発送致します。(約1週間でお手元に届きます)

## ご注文方法

お名前

〒

住所

電話

DVD「架け橋 聞こえなかった3.11」3,240円(税込) × 枚 合計 円  
(本体価格3,000円)

※送料は弊社が負担させていただきます。

お振込みされた日 年 月 日 ( 銀行 / 郵便 ) ←お振込み先にチェックをいれてください。